

指数テーブル使用方法

2. 指数テーブルの表示

2-1. 指数テーブル

指数テーブルは、自動車メーカーから発売される新型車を対象とした「脱着・取替指数」「補修塗装指数」が1冊にまとめられたものです。ここに掲載されている指数は、指数作成時に調査した車両の形状、仕様およびメーカーオプションに基づいており、指数発表以降に追加されたモデルやマイナチェンジされた車両には同指数を適用することができない場合がありますので注意が必要です。

2-2. 指数テーブルの表紙

図1に指数テーブルの表紙例としてダイハツ タントを示します。表紙には、この指数テーブルに掲載されている車種の情報と発行年月が記載されています。

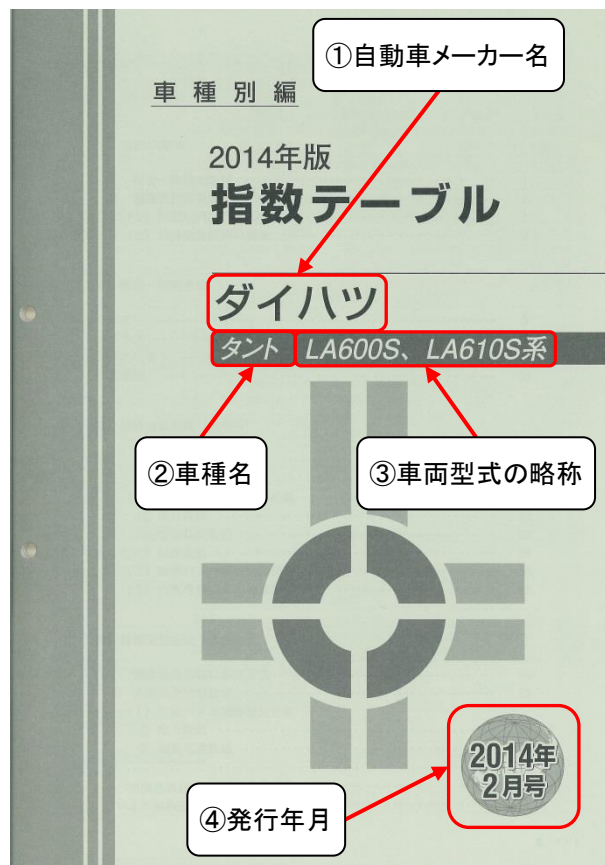


図1 指数テーブルの表紙例

2-3. 脱着・取替指数テーブルの名称と内容

「B010フロントバンパ脱着」の指数テーブルを例に、各欄の内容を説明します。(表1、2)

①指数項目	B010	②指数作業項目	(1)フロントバンパ脱着	⑤摘要
③指数値	0.50		取外し状態 ・フロントグリルA s s y (含)作業および部品 —	
④コメント	フォグランプ		取外し状態 ・フロントグリルA s s y (含)作業および部品 —	
	0.50		取外し状態 ・フロントグリルA s s y (含)作業および部品 —	
			(2)フロントバンパ、フロントバンパレインフォース脱着	
	0.50		取外し状態 ・フロントグリルA s s y (含)作業および部品 ・フロントバンパエネルギーアブソーバ脱着	
	フォグランプ		取外し状態 ・フロントグリルA s s y (含)作業および部品 ・フロントバンパエネルギーアブソーバ脱着 ・フォグランプハーネス縁切	
	0.50			

表1 「B010 フロントバンパ脱着」の指数テーブル例

表2 脱着・取替指数の指数テーブル各欄の内容

表1の番号	各欄の記載内容
①指数項目	<p>作業項目ごとに定められた車種共通の4ケタの番号です。</p> <p>頭文字のアルファベットは以下の作業種別を表し、3ケタの数字は車体前部から後部作業の順番でつけられています。</p> <p>「B」…ボルト系および溶接系部品の脱着または取替作業 「M」…メカニカル系部品の脱着または取替作業 「G」…ガラス系部品の脱着または取替作業</p> <p>表示例: B020、M030、G035</p>
②指数作業項目	<p>代表的な部品名称とその作業内容です。部品名称と作業内容は車種により異なります。</p> <p>車両を構成する主要な部分の作業について、代表的な部品名称を用いた作業項目名称が記載されています。</p> <p>表示例: ヘッドランプ脱着、フロントフェンダ脱着、リヤバンパ取替</p> <p>作業範囲の異なる作業が複数設定される場合には、作業項目名の前に(1)、(2)…と記載されます。</p> <p>表示例: (1)フロントバンパ脱着 (2)フロントバンパ、フロントバンパレインフォース脱着</p>

<p>③指数値</p>	<p>当該指数作業項目に対応した指数値が記載されています。最小単位は0.10で作業時間6分に相当します。</p> <p>仕様や装備品等に伴う前提条件または作業内容の違いにより、1つの指数作業項目に複数の指数値が記載されている場合があります。</p> <p style="border: 1px dashed red; padding: 5px;">オプションに関する注意 指数はメーカーオプションのみを作成対象としており、これ以外のディーラーオプションや地域限定仕様などには対応していません。</p> <p style="border: 1px dashed red; padding: 5px;">表示例： 0.10、1.20、3.50、6.80</p>
<p>④コメント</p>	<p>複数の指数値が記載された場合、その違いを「コメント」で表しています。</p> <p>表1では、コメントのない指数とコメント「フォグランプ」と表記された2つの指数値が表示されています。これは、フォグランプの付いていない標準仕様と、「フォグランプ」の付いた仕様の指数がそれぞれあることを表しています。</p> <p style="border: 1px dashed red; padding: 5px;">表示例： 右側、4WD、スペアタイヤ</p>
<p>⑤摘要</p>	<p>指数ごとの摘要(作業条件、作業範囲)が記載されています。</p> <p>※「取外し状態」</p> <p>当該作業項目の前提条件が記載されています。</p> <p>表1では、フロントバンパ脱着の取外し状態としてフロントグリルAssyが記載されています。これは、フロントグリルAssyが取外された状態からフロントバンパを取外す作業として指数が設定されていることを表しています。</p> <p>なお、損傷状態によっては、「取外し状態」に記載されている部品の取外しが不要な場合もあるので注意が必要です。</p> <p style="border: 1px dashed red; padding: 5px;">表示例： フロントバンパ、フロントドア、リヤシート</p> <p>※「(含)作業および部品」</p> <p>当該指数の作業範囲として、含まれている作業と部品名称が記載されています。</p> <p>作業上、必要とされる細かな部品については指数の作業に含まれていますが、個々の部品名称ではなく、「付属品」とまとめて記載されています。</p> <p style="border: 1px dashed red; padding: 5px;">表示例： バックドアトリム 付属品 立付調整 水密テスト</p>

2-3. 運転支援システム再設定・調整指数テーブルの名称と内容

「A010 基本作業指数」と「A120 前方カメラターゲット調整作業」の指数テーブルを例に、各欄の内容を説明します。(表3、4)

		② 指数作業項目
① 指数項目	A010	
	(1) 運転支援システム再設定・調整基本作業	
	前提作業	
③ 指数値	0.20	
	(含) 作業および部品	
	・タイヤ空気圧調整	・調整作業エリアへの移動
	(2) スキャンツール接続作業	
	前提作業	
	●●●使用	
	0.30	
	(含) 作業および部品	
	・DTC確認・消去	・スキャンツール操作
		⑤ 摘要
④ コメント	A120	
	(1) 前方カメラターゲット調整作業	
	前提作業	
	レーザ墨出機使用	・運転支援システム再設定調整基本作業 ・スキャンツール接続作業
	0.60	
	(含) 作業および部品	
	・スキャンツール操作	・ターゲット設置
	前提作業	
	レーザ墨出機未使用	・運転支援システム再設定調整基本作業 ・スキャンツール接続作業
	0.70	
	(含) 作業および部品	
	・スキャンツール操作	・ターゲット設置
	(2) 前方カメラ走行調整作業	
	前提作業	
	1.00	・運転支援システム再設定調整基本作業 ・スキャンツール接続作業
	(含) 作業および部品	
	・スキャンツール操作	・走行による再設定・調整

表3 「A010 基本作業指数」「A120 前方カメラターゲット調整作業」の指数テーブル例

表4 運転支援システム再設定・調整指数の指数テーブル各欄の内容

表3の番号	各欄の記載内容
① 指数項目	<p>作業項目ごとに定められた「A」から始まる車種共通の4ケタの番号です。</p> <p>「A010～」は基本作業指数を表し、「A100～」はセンサ別再設定・調整作業指数を表しています。</p> <p>基本作業指数 … センサ別再設定・調整作業指数の前提となる作業項目であり、主に準備、片付けによって構成されています。</p> <p>表示例： A010</p> <p>センサ別再設定・調整作業指数 … 各種計測・調整やターゲット設置、車両への登録作業など、主にセンサ固有の作業によって構成されています。</p> <p>表示例： A100、A110、A120</p>
② 指数作業項目	<p>基本作業指数においては、作業内容を簡潔に表現した通称名称であり、原則として共通の名称を記載しています。</p> <p>センサ別再設定・調整作業指数においては、該当するセンサに対して行う再設定・調整作業について、自動車メーカー発行の修理書記載の作業名称を基に記載しています。そのため、名称と作業内容は車種により異なります。</p> <p>作業範囲の異なる作業が複数設定される場合には、作業項目名の前に(1)、(2)…と記載されます。</p> <p>基本作業指数</p> <p>表示例： (1)運転支援システム再設定・調整基本作業 (2)スキャンツール接続作業</p> <p>センサ別再設定・調整作業指数</p> <p>表示例： (1)前方カメラターゲット調整作業 (2)前方カメラ走行調整作業</p>
③ 指数値	<p>当該指数作業項目に対応した指数値が記載されています。最小単位は0.10で作業時間6分に相当します。</p> <p>仕様や装備品等に伴う前提条件または作業内容の違いにより、1つの指数作業項目に複数の指数値が記載されている場合があります。</p> <p>オプションに関する注意 指数はメーカーオプションのみを作成対象としており、これ以外のディーラオプションや地域限定仕様などには対応していません。</p> <p>表示例： 0.10、1.20、3.50、6.80</p>

<p>④コメント</p>	<p>基本作業指数においては、指数作成時に使用したスキャンツールの名称を「コメント」で表しています。</p> <p>センサ別再設定・調整作業指数においては、複数の指数値が記載された場合、その違いを「コメント」で表しています。</p> <p>表3のA010(2)スキャンツール接続作業では、使用したスキャンツールの名称としてコメントに「●●●使用」と表記されています。</p> <p>一方で、A120(1)前方カメラターゲット調整作業では、指数値とコメントが「レーザ墨出機使用」、「レーザ墨出機未使用」の2種類記載されています。これは、自動車メーカー発行の修理書にそれぞれの作業方法が記載され、指数値にも差異があることを表しています。</p> <p>仮に指数値に差異がない場合は、「レーザ墨出機使用、レーザ墨出機未使用」の1コメントに集約し記載されます。</p> <p style="border: 1px dashed red; padding: 2px;">表示例：レーザ墨出機使用、レーザ墨出機未使用、◆◆センサ取替時</p>
<p>⑤摘要</p>	<p>指数ごとの摘要(作業条件、作業範囲)が記載されています。</p> <p>※「前提作業」</p> <p>主にセンサ別再設定・調整作業指数において、該当項目の前提条件となる作業が記載されています。</p> <p>表3のA120(1)では、A010(1)の「運転支援システム再設定・調整基本作業」、A010(2)の「スキャンツール接続作業」が記載されていますが、これら2つの作業と合せて使用するように指数が設定されていることを表しています。</p> <p style="border: 1px dashed red; padding: 2px;">表示例：運転支援システム再設定・調整基本作業、スキャンツール接続作業、大型SST準備作業</p> <p>※「(含)作業および部品」</p> <p>各項目において必要となる、主な作業が記載されています。</p> <p>作業上、必要となるものは指数に含まれていますが、作業工程や詳細を指示しているわけではないので注意が必要です。</p> <p style="border: 1px dashed red; padding: 2px;">表示例：DTCの確認・消去 スキャンツール操作 ターゲット設置 走行による再設定・調整</p>